

---

# 双子の異世界転生記

水無月・烈火

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

双子の異世界転生記

### 【Nコード】

N4771BA

### 【作者名】

水無月・烈火

### 【あらすじ】

最低な父親のせいで双子の姉弟が死んだ。

しかし、その最後を見た神様が「これは可哀想だ」と思いこの双子に別の世界に転生してみないかと双子に言うのであった……………

……………  
今ここに双子の異世界転生記が始まる！！

基本は台本書きですのでそういうのが嫌いな方は頑張っ  
て見るもよし止めるもよしです

後、オリジナルの世界ですが主人公の双子が使う技や魔法はゲーム  
のです

最後にもう一つ最後にキャラクター目線で書くかもし  
れませんのであしからず

## プロローグ

（天界）

ここは天界。

様々な神が自分の世界や別の世界を見ていたりします。

そして、今ここに地球の映像を見ている神がいた

その映像には燃えている家があった

神「ああ、この最後は可哀想と思わないかゼウス？？」

神が隣にいた神「ゼウス」がいた

ゼウス「確かにそうだけど……………」

神「だろう??だからさあ、僕があの子達を転生させようと思うんだ」

ゼウス「ちよつと待ってよ!!転生には閻魔さん許可が必要なんだよ。今からじゃあ遅いよ」

神「ゼウス。君は閻魔の飲み仲間だろ。だから後は任せた」

シユン!!

ゼウス「ああ、もう行っちゃったよ。はあくしょうがないなあ。閻

魔さんやユイさんに言わないとなあ」

はあくため息を吐き出しこの場から消えた

## 双子と神の出会い

（天界・草原）

神とゼウスの会話から少したった後双子がここに呼ばれた

姉「あれ???ここはどこ???確か私は神無と一緒に……………!?神無???どこにいるの神無」

双子の姉「弥生」が双子の弟の「神無」を探していると少し離れたところに人影が見えた

弥生「神無!!」

弥生が神無の所に走っていった

弥生「神無。目を覚まして神無」

神無「んっ……………弥生……………うるさい……………よう」

弥生は神無が生きていて安心しゆっくりと座った

弥生「よかったあ」

神無「あれ???ここどこだよ。弥生はわかる??」

弥生「私もさっき目が覚めたばかりだから……………」

神無「そうか。でも僕達ってたしか……………死」

神「死んだよ。君達はあの時ね」

神無「ここに来る前の事を言おうとしたら、突如神が現れた

弥生「だっ誰ですかあなたは」

神「俺???俺はねえ。君達のところと言う神様だよ」

神無「神様ってことはここは天国か??」

神「いや、違う。ここは様々な世界の神々が住まう場所天界だ」

弥生「天界??」

神「そう、天界」

神無「じゃあ、天国とか地獄とかはどこにあるんだよ」

神「天国はここの下にあり。地獄は冥界の上にある」

弥生「でわ、私達はなぜ天国にも地獄にもいかずここにいるのですか??」

神「君達があまりにも可哀想だと思ってね。別の世界だけど転生してみないかって聞こうと思ってね」

神無「転生って何??」

神「まあ簡単にいえば死んだ人間がまた別の人間に生まれ変わり新

たな人生を生きるってことだよ」

弥生「それなら、私達がここにいる理由にはならないんじゃないか……」

神「確かに“普通”の転生ならね」

弥生「普通じゃないと??」

神「そう、今から君達は君達が生きた世界とは全く違う魔法や剣の世界に転生してあげようかなってね」

神無「魔法や剣の世界ってゲームの世界とか??」

神「違うよ。確かにゲームに出てきそうな世界だけどアニメや漫画、ゲームなどのキャラクターがいる世界ではないよ」

神無「でもさあ、転生したら記憶はなくなるんじゃないのか」

神「だから、“普通”の転生じゃないって言ってるだろう」

神無「じゃあ、つまり」

神「記憶も残っているし後、おまけで何個か能力とかをあげるよ。さあ、君達はどうする??転生する??しない??それを決めるのは君達だからね」弥生「私は神無と一緒にまたやり直せるなら転生したい」

神無「俺も弥生と一緒に転生したい」

神「オーケー。ならまずは能力をあげるから何が欲しいか言って」

神無「なら、俺はゼルダの伝説シリーズ全部のアイテムや武器にFシリーズの呪文全部とディシディアデュオデシムファイナルファンタジーにでてくるキャラクターの技で、俺は以上だ」

神「まあこれぐらいならいいよ。じゃあ、君は」

神は弥生の方を向く

弥生「私はあの……………ティルスオブシリーズにでてくる技や術さらに武器と能力でいいです」

神「よし、わかった。後は僕が容姿に魔力、後身体能力とかもやっておくから。君達はあの光の中に入れてくれ」

弥生「分かりました」

神無「わかった」

弥生が先に行き神無があとを追うときに神様が神無の方を見ながらぼそりと

神「君の姉の事を考慮して君を……………」

弥生「神様準備が入りましたよ」

神無「こっちは準備オツケーだ」

神「よし、今から君たちは別の世界で赤ん坊から始まる。名前だけは変えないから安心してね。じゃあ、魔法と剣の世界に行つてらっ

「しゃい」

双子が入っていた光はより輝きを増し双子を包み消えた

神「よし、これでオーケーかな」

ゼウス「お〜い。許可をもらってきたよ」

神「おおゼウスもう終わったから帰るぜ」

ゼウス「えっ??えっ??」

神様は事情がわからないゼウスを置いて帰って行くのであった

## 双子と神の出会い（後書き）

く?????

どうも、水無月です。

私は別のサイトでも小説を書いていてこの「双子の異世界転生記」にも出る予定です

他に書いているとはいえまだ未熟者なので頑張って成長できるようにしたいと思います

最後に神としかかかれていなかったキャラの名前はあります。

だから、再度登場しても神としか表示されません

これで終わりです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4771ba/>

---

双子の異世界転生記

2012年1月14日00時56分発行